

第1日目：12月4日（土）

会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
セッション		〈自由論題報告（ロング）〉			
司会者		金 容度 （法政大学）	橋口 勝利 （慶応義塾大学）	湊 照宏 （立教大学）	島西 智輝 （東洋大学）
9：30 ～ 10：25	①	永島昂（立命館大学） 「戦時鋳物工業統制の展開と実態」	上原克仁（静岡大学）、大島久幸（高千穂大学）、谷ヶ城秀吉（専修大学） 「戦前期に構築された人的資源の継承と戦後の事業展開－三井物産と三菱商事を事例に－」	長友剛輝（京都大学（院）） 「1949年台湾遷移後の中華民国経済－党国体制下の国民党政権による「民間」企業経営」	太田仙一（飯田市歴史研究所） 「明治30年代における王子製紙の山林開発と地域経済」
10：30 ～ 11：25	②	高橋周（東京海洋大学） 「大日本人造肥料による吠の調達－東上総地域への関与を中心に－」	岡野純司（愛知学院大学） 「戦前期の百貨店における食堂の外部委託」	長谷部弘道（杏林大学） 「自衛消防組織の諸機能－日立製作所笠戸工場を事例に－」	今城徹（阪南大学） 「戦前期神戸における地域金融：五大都市地域の一事例として」
11：30 ～ 12：25	③	小西雄大（東京大学（院）） 「戦間期日本における製粉企業の活動と製パン業の展開－日清製粉とその関連企業を中心に－」	今給黎佳菜（東海学園大学） 「モリムラ・ブラザーズの陶磁器販売戦略－アメリカ大衆消費社会形成の視点から－」	堤悦子（北海商科大学） 「北海道遺産－アメリカ式酪農経営の継受と老舗」	瀧本哲哉（京都大学（院）） 「戦前の京都における都市下層の就業構造の変容－被差別部落民・在日朝鮮人の視点から－」
昼休み（12：25～14：00）					
セッション		〈統一論題〉			
司会者		小林延人（東京都立大学）			
14：00 ～ 16：30		テーマ：豪商の金融史 14：00～14：10 高槻泰郎（神戸大学）・結城武延（東北大学） 「趣旨説明」 14：10～14：35 高槻泰郎（神戸大学） 「加島屋久右衛門の創業と成長－業態変化に着目して－」 14：35～15：00 酒井一輔（聖心女子大学） 「加島屋久右衛門の大名貸経営－大名財政の規律化をめぐる－」 15：00～15：25 結城武延（東北大学） 「新しい事業への参入－大同生命保険会社の誕生－」 15：25～15：40 コメント 粕谷誠（東京大学） 15：40～16：30 ディスカッション			
16：45～ 17：30		会員総会			

※※ 次ページに「第2日目」のプログラムがあります ※※

第2日目：12月5日（日）

会場	第1会場	第2会場	第3会場
セッション	〈自由論題報告（ロング）〉 （※第2会場第3報告はショート）		〈パネルディスカッション〉
司会者	中島 裕喜 （南山大学）	平尾 毅 （京都橋大学）	シャ チェンシャオ （大阪大学）
9:30 ～ 10:25	① 白石美男（京都大学(院)） 「日本の製薬会社は COVID-19 ワクチンの開発になぜ遅れているのかー1990年代以降のワクチン開発をめぐる日米欧の動きー」	松浦陽子（明治大学(院)） 「イギリスにおける1852年産業節約組合法の成立と協同組合経営」	オーガナイザー シャ チェンシャオ（Chenxia Xia） （大阪大学） 【題目】 Business Politics and China's Economic Development in the 20th century 【報告者】 Zhaojing Zeng, (Duke Kunshan University), Ying Jia Tan (Wesleyan University), Ghassan Moazzin (University of Hong Kong), 吳贊（徳山大学）, 易星星（兵庫県立大学）, Cao Ning (福建師範大学) 【コメンテーター】 Matthew Noellert (一橋大学), 花木莞爾（大阪国際大学）, 薛軼群（中国社会科学院）, 刁成林（西南交通大学）, 久末亮一（アジア経済研究所）
10:30 ～ 11:25	② 内海京久（富士フィルム(株)） 「汎用電子部品の市場展開プロセス～青色LEDの技術進化と市場成長のタイムラグ～」	矢島ショーン（東京大学(院)） 「批判をもって独占を征す：帝政期ドイツにおける石炭カルテルの価格決定と世論」	
11:30 ～ 12:25	③ 橘川武郎（国際大学） 「日本石油産業発展のダイナミズム」	11:30 ～11:55 石塚史樹（東北大学） 「独企業における「成果主義」的人事管理の形成：1950年代～1990年における人事秩序・報酬システムに焦点を当てて」	
昼休み（12:25～13:30）			
13:30 ～14:30	【特別講演】 清水 洋（早稲田大学）「General Purpose Technology, Spin-Out, and Innovation とその後：経営史との接点」 司会者：粕谷誠（東京大学）		
セッション	〈自由論題報告（ショート）〉		
会場	第1会場	第2会場	第3会場
司会者	長廣 利崇 （和歌山大学）	平野 創 （成城大学）	崔 裕眞 （立命館大学）
14:35 ～ 15:00	① 深町浩祥（明治学院大学博士課程、跡見学園女子大学） 「豪商・伊藤八兵衛とロバート・W・アルウィンー三井物産・益田孝と渋沢栄一に及ぼした影響についてー」	上野継義（京都産業大学） 「労働者の健康はどのように議論されていたのかー革新主義期アメリカにおける人間工学運動と人間機械論の系譜ー」	彦坂祐次（(株)ビジョナリーホールディングス） 「CSV経営から見るメガネスーパーの再生」
15:05 ～ 15:30	② 佐藤秀昭（摂南大学） 「明治・大正期における商工業者の地理的分布『商工資産信用録』の悉皆調査」	クラウター・ヨナタン （Krautter, Jonathan）（フンボルト大） 「戦後日本の技術導入政策におけるドイツ化学企業の対応 1950年～1968年」	高梨透（みずほリサーチ&テクノロジー(株)） 「日本における「電子決済サービス」普及の要因分析～デジタル化とバーチャル化～」
15:35 ～ 16:00	③ 海上英治（東京大学(院)） 「戦前の三菱商事と三井物産の信用リスク量とリスク管理」	古賀大介（山口大学） 「第一次大戦期とその前後におけるイギリス大手銀行「外国部」の業務分析ー「財務情報」等を手掛かりに」	山下麻衣（同志社大学） 「第二次世界大戦後における付添婦の存続理由に関する研究」